

なかがよ

町議会だより

No.143
平成24年10月18日発行
長崎県長与町議会



やったあ～
小さな力が大きなピラミッド

めぐみ保育園



ミクン
(町イメージキャラクター)

9月定例会

一般会計黒字決算	2
国保基金はゼロ	4
議員定数報告書を提出	7
16人が問う 一般質問	8

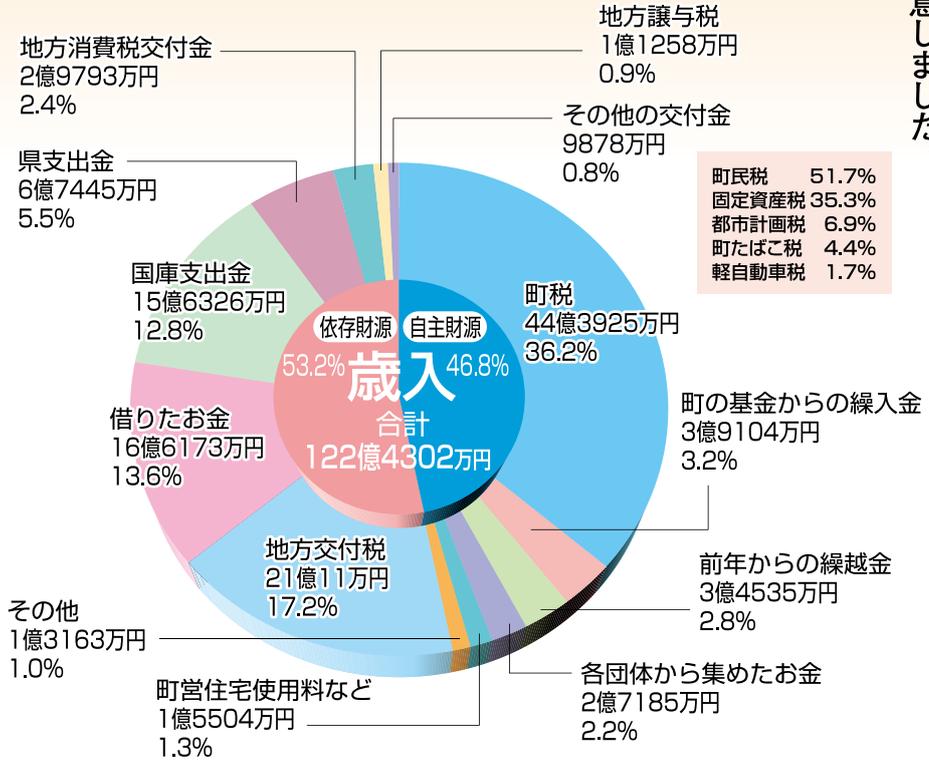
無駄は省ける!



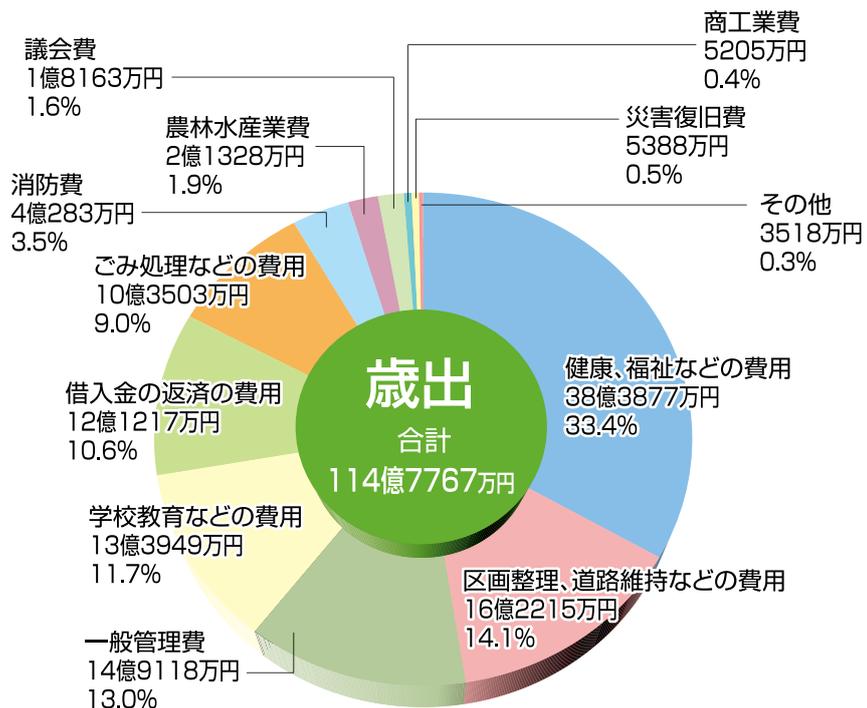
賛成16：反対2

平成23年度一般会計決算

24年第三回定例会が9月5日から24日まで開かれ、23年度の一般会計決算など18議案を審議し、全議案を可決・認定・同意しました。



◎説明
 地方交付税 町の支出と収入の差を国が埋め合わせたお金
 国庫支出金 国の事業に関わるものについて国が出したお金
 県支出金 県の事業に関わるものについて県が出したお金
 地方消費税交付金 国が一定基準で譲与した消費税
 地方譲与税 国が一定基準で譲与した国税



主な質疑

■中学校の図書購入

問 中学校での購入図書数は何冊か。

答 長与中が632冊、第二中が407冊、高田中が328冊。購入冊数の違いは、図書保有の達成率が低い学校に予算を配分しているからである。

■日曜祝日の当番医

問 委託先と委託料の内訳はどのようなものか。

答 委託先は西彼杵医師会。長与町、時津町、西海市が人口の案分で委託料を払っている。
 (長与町…122万6千円、時津町…86万4千円、西海市…91万円)

黒字! でもまだ

本会議討論(抜粋)

反対討論

●高田南土地区画整理事業に23年度は約7億5千万円の事業費をつぎ込んでいますが、進捗はわずか3・5%で、今後も毎年約10億円の工事費を必要とする。29年度完成を目指しているが、実際に完了するのか不明瞭である。

●都市計画道路西高田線は、約1キロちよつとの道路に40数億円をかけ整備予定であるが、先線の計画が明らかではなく費用対効果も期待できない。

賛成討論

決算の認定に賛成するが以下の点を指摘する。

●5年に1回配布する町政要覧に大きく前町長が載っているものが2ページある。シールを張り対応することだが、町の顔ともいえるべき要覧が何年にもわたりそれでよいのか疑問である。

●エアコン・エレベーター・警備などは設置時は入札で行われているが、保守・点検・警備などは設置時のメーカー・関連会社と随意契約が行われている。この状態では競争原理は働かず価格が高止まりし、業者の言い値状態であり検討すべきである。

●負担金・補助金・各審議会の報償費は、内容を精査し、必要に応じて見直すなど、費用対効果を一層発揮させる努力の必要性を検討すべきである。

情報インフラ整備など

24年度一般会計補正予算

追加補正 **1億7500万円**

○町内の情報インフラ整備

337万円

タイムリーな防災情報の発信、高齢者の安否確認や見守りなどのセーフティネットの構築を図る。

問 調査の手順はどうするのか。

答 来年3月末までに基本計画書を作り、概要設計に従って機器を配置する。専門的な事項はコンサルタントに依頼する。

○町のPRをラジオでも

756万円

町の行事をFM長崎でPR。10月から半年間週1回、40分番組を放送。取材等のスタッフは町内在住者3人を雇用。

問 スタッフの募集方法はどうか。

答 ハローワークで募集する。

○LED購入に補助

250万円

省エネ推進を目的として、LEDの購入を補助。対象者は町内在住者。補助金額は費用の2分の1。30000円以上の購入が条件で上限は50000円。町内の共通商品券で補助する。

問 町内でLEDを販売する業者は何件か。

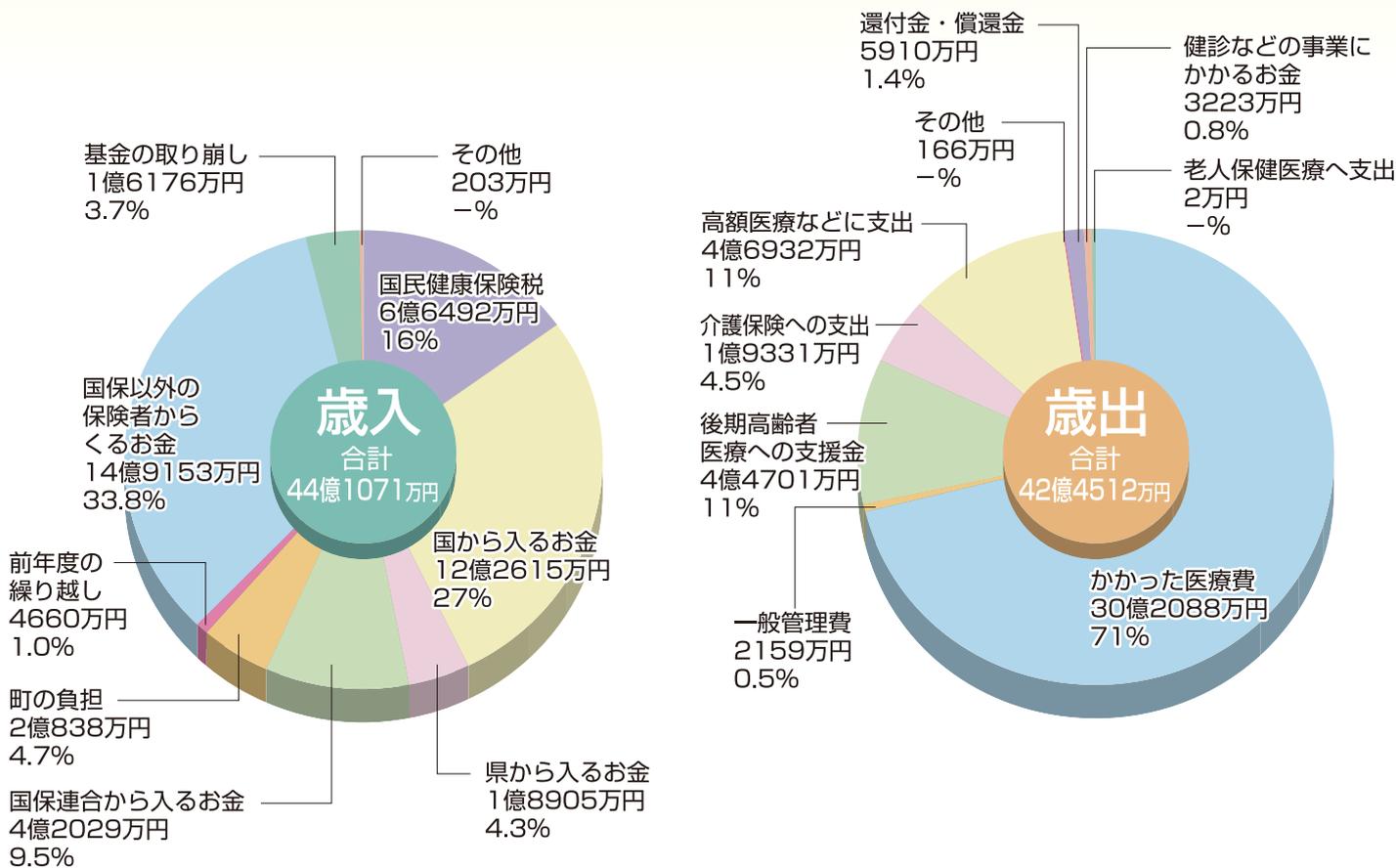
答 商工会加入の電気店が5店舗。町内スーパーを入れると13店舗。

平成23年度で国保基金はゼロ

国保の健全化に向けて!



国民健康保険会計決算



基金残高	830万円	国保加入者	5400世帯
回収不能額	836万円	被保険者数	9892人
保険税未納額	1億9609万円	収納率	78.48% (県内6位)

主な質疑

- 問** 特定健診の町の目標と特別な取組は行なっているのか。また、昨年より増加したのか。
- 答** 23年度で55%、3600人だ。原爆健診も検査項目に入れるよう近隣自治体と協議中だ。昨年より、約19%405人増加した。
- 問** ジェネリック医薬品推進の取組はどうか。
- 答** 2年に一度希望カードを送付して推進を図っている。
- 問** 出産一時金の対象者は何人か。
- 答** 49人である。
- 問** レセプト審査の支払い手数料は妥当か。
- 答** 審査には、熟練者があたり、内容も手数料についても妥当だ。



65歳以上の5人に1人は介護認定者

1人当たりにかかる費用は約100万円

全会一致
認定

介護保険特別会計決算

保険事業	歳入 24億4284万円	歳出 24億513万円
サービス事業	歳入 2055万円	歳出 1717万円

要支援・要介護にならないためいつまでも元気でいよう

長与町介護 保険情報

高齢者人口
24年3月末日

65歳以上…8,167人
高齢化比率…19.2%
県内下から2番目
基準保険料…24年度
月…5,400円

問 年間の申請件はどれくらいか。
答 1724件である。この中には、介護認定者の更新・変更も含まれる。

問 保険給付費の不用額については、高額のようにだがどうか。
答 例年同様推移している。給付費は、使用者の上限がないので、備えている。

主な質疑

介護認定者	1,605人
要支援1	217人
要支援2	258人
要介護1	286人
要介護2	310人
要介護3	197人
要介護4	193人
要介護5	144人

後期高齢者医療対象者138人増

後期高齢者医療特別会計決算 対象者3,892人

認定

歳入 3億5155万円 歳出 3億5080万円 賛成16：反対2



問 後期高齢者医療の保険料徴収員はいるのか。
答 介護保険には存在するが、後期高齢者には徴収員はいない。改善に向け現在、要綱の整備をしている。

問 委託料の中身についてはどうか。
答 毎年発生しているシステム改修委託料で、昨年は、オーバードライトということで2回発生した。

問 不能欠損の中身についてはどうか。
答 死亡・生活困窮・その他となっている。

主な質疑

反対討論

高齢者を苦しめる制度であり、保険料も払えない世帯もある。早急にこの制度は廃止すべきである。

賛成討論

しあわせな格差のないすべての高齢者が、安心して暮らせるよう老後社会を目指し、財政運営をこれからもされていくと思う。

その他の議案
・ 国民健康保険特別会計補正予算
・ 後期高齢者医療特別会計補正予算
・ 介護保険特別会計補正予算
各議案とも可決されました。

23年度土地区画整理事業の決算

賛成16：反対2

認定

23年度末で事業進捗率83.1%(事業費ベース)

高田越橋～百合野踏切までの道路整備 今年度完成で便利に!!

収入 11億5008万円

支出 11億2356万円

主な質疑

問 一般会計からの繰出金は、今後どうなっていくのか。

答 新たな補助金を活用できるよう研究していく。削減する努力を今後も行っていく。

問 29年度完成予定で事業費はどのようになるか。

答 今年度、県で事業計画の変更を実施する。現段階での事業費しか解っていない。

賛成討論

○国道との接続で利便性の向上や近代的な街並みを見ると確実に工事の成果がうかがえる。この状況下での工事中止、凍結は現実的ではないと考える。

反対討論

○事業が完結できないばかりか、起債の償還など多額の負債を町民の血税で補うようなことになれば、町民に対しても大きな損失を与える。

23年度水道事業・下水道事業剰余金の処分

剰余金の処分は、地方公営企業法の改正により、議会の議決が必要となった。

全会一致可決

水道事業剰余金	減債積立金への積立	1億1800万円	建設改良費積立金への積立	2900万円
下水道事業剰余金	減債積立金への積立	1億3031万円	建設改良費積立金への積立	3000万円

23年度水道事業・下水道事業会計決算

全会一致認定

水道事業会計決算

収益的収入	7億515万円
収益的支出	5億4784万円
資本的収入	1158万円
資本的支出	3億4517万円
給水戸数	15,309戸
年間配水量	3,671,330m ³
一日平均配水量	10,031m ³

下水道事業会計決算

収益的収入	8億8492万円
収益的支出	6億9009万円
資本的収入	8億6923万円
資本的支出	12億2540万円
給水戸数	15,302戸
年間総処理水量	4,714,200m ³
一日平均処理水量	12,916m ³

(不足する額は積立金や留保資金などで補てん)

(不足する額は積立金や留保資金などで補てん)

用語解説 ☆収益的収支・・・主に維持管理の関係 収入＝料金・使用料、負担金 支出＝維持管理費、人件費
 ☆資本的収支・・・主に設備投資の関係 収入＝補助金・負担金・借入金 支出＝事業費、償還金

24年度水道事業補正予算

全会一致可決

- ※ 下水道事業費 2420万円の増額 不明水対策で既設污水管カメラ調査委託による増額
- ※ 資本的収入 117万円の増額 河川改修による県からの補償金及び受益者負担金による増額
- ※ 資本的支出 2000万円の増額 高田川河川改修工事に伴う建設改良費による増額

議員定数調査・研究報告書を提出

☆委員長 岩永 政則 副委員長 川井 哲雄

議会改革等調査委員会は、このほど議員定数についての報告書をとりまとめ、8月22日議長に提出しました。

長与町議会は、昨年9月22日の本会議において、町議会自らが議会改革を進めようと、『長与町議会改革等調査特別委員会』を設置しました。この特別委員会は、調査・研究を目的に設置したものです。

- 調査・研究事項は
- (1) 議員定数について
 - (2) 議会基本条例について
 - (3) 政治倫理条例について
 - (4) 会派制について
 - (5) その他議会改革に関することについて

最初に『議員定数について』議論を開始し、11回にわたり調査研究を行ってきました。6月には今後の議員定数について、各議員から考え方を文書にて提出をいただきました。その結果、現在の定数20人（現状維持）が10人。見直し（削減）が8人。この見直しのうち定数16人が6人。

定数未定が2人。

このように各議員の考えも多様であり、これを何とか全会一致ができないか、岩永委員長より調整案として18人を提示しました。しかしながら、最終的には全会一致という合意には至ることができませんでした。



▲岩永委員長から山口議長へ報告書が手渡されました

長与町行財政対策等調査特別委員会（中間報告）

目的 長与町の行財政に関する5項目の事項について、調査・研究を行う。
設置 23年9月22日

☆委員長 吉岡 清彦
副委員長 分部 和弘

第1回 委員会のあり方について

第2回 東日本大震災の本町財政に対する影響について

- ・ 地方普通交付税は予定どおり、今後については未確定（総務部）
- ・ 交付金は決定が来てないが、影響はないと考える（建設部）
- ・ 下水道の補助金が対象となるが、影響はない（水道局）
- ・ 子ども手当や妊婦健診、頸がん検診の推移に注視（生活福祉部）
- ・ 長与小の建設補助金の認定時期遅れあった（教育委員会）
- ・ 大きな補助事業はないが、特に影響はない（企画振興部）

第3回 今後の税収のあり方について

第4回 高齢化に伴う民生費の増大傾向について

- ・ 町税の推移、滞納分の徴収方法、固定資産税の状況（総務部）
- ・ 高齢化に伴う民生費の増大傾向について（生活福祉部）
- ・ 民生費の推移、防災福祉マップ活用状況（生活福祉部）
- ・ 地域包括支援センターの現状、介護給付費の状況（生活福祉部）
- ・ 効率的な行政機構について（総務部）
- ・ 具体的に効率化した業務内容、人員配置状況（総務部）

第5回 効率的な行政機構について

第6回 その他行財政に関することについて

- ・ 国体開催に向けての具体的取組み、計画状況（国体事務局）
- ・ 電算システムのクラウド化の検討状況（企画振興部）

第7回 その他行財政に関することについて

- ・ 定住自立圏構想の協議検討状況（企画振興部）
- ・ 自治会加入促進状況、各地区コミュニティー状況（企画振興部）

第8回 その他行財政に関することについて

- ・ 尿投入施設の状態、エスコ事業の取組状況（生活福祉部）
- ・ その他行財政に関することについて（建設部）

第9回 その他行財政に関することについて

- ・ 学校給食の地産地消について、公営住宅の管理状況（建設部）

第10回 その他行財政に関することについて

- ・ 学校給食の地産地消について、公営住宅の管理状況（建設部）

第11回 その他行財政に関することについて

- ・ 学校給食の地産地消について、公営住宅の管理状況（建設部）

16人が問う

岩永 政則 議員…………… 9P

- ①第5期介護保険事業計画見直しと介護入所施設等の拡充について
- ②「子育て環境長崎県一」の長与町をめざして
- ③新図書館・長与町公民館を含めた（仮称）長与町生涯学習センターの建設について

金子 恵 議員…………… 10P

- ①教育現場の現状について
- ②エコバッグ推進について
- ③わかりやすい情報提供と行政の説明責任について

佐藤 昇 議員…………… 11P

- ①町長の政策実行と行政運営について

竹中 悟 議員…………… 12P

- ①町の将来と町長のリーダーシップについて

山口憲一郎 議員…………… 13P

- ①これからの農業政策・高齢化対策について

内村 博法 議員…………… 14P

- ①小・中学校におけるいじめ防止について
- ②町長の所信表明について
- ③ゴミ焼却施設について

安部 都 議員…………… 15P

- ①町長の町政指針と行政サービスについて
- ②庁舎内職場環境改善の取り組みについて
- ③住民基本台帳カードの利用等について

川井 哲雄 議員…………… 16P

- ①町の公共施設の運営と整備について
- ②町の保育行政について
- ③町の防災行政無線について

西岡 克之 議員…………… 17P

- ①長与町の教育問題について
- ②福祉政策について

饗庭 敦子 議員…………… 18P

- ①学校におけるメンタルヘルスの取り組みについて
- ②長与町の情報インフラの進捗状況について

堤 理志 議員…………… 19P

- ①平和事業について
- ②公共施設の老朽化対策、安全対策について

分部 和弘 議員…………… 20P

- ①長与町のスポーツ環境について
- ②コンパクトシティについて

安藤 克彦 議員…………… 21P

- ①「長与町暴力団排除条例（仮）」の制定について
- ②長与町駐車場（嬉里）の適切な運営について
- ③検討課題の状況について

河野 龍二 議員…………… 22P

- ①広域水道事業と今後の計画について
- ②敬老祝い金の支給方法について
- ③発達障害対策の現状と課題

吉岡 清彦 議員…………… 23P

- ①道路網の整備計画について
- ②公共事業の優先順位について
- ③快適な住宅環境づくりについて

西田 敏 議員…………… 24P

- ①歩きやすくきれいで安全なまちづくりについて

会議録の閲覧

一般質問の会議録は、長与町図書館、長与北部地区多目的研修集会施設、高田地区公民館、上長与地区公民館、長与町ホームページで閲覧できます。

一般質問の記事

質問した議員が執筆したものです。原稿は、原則として1000文字以内で要約したもので、原文を尊重して掲載しています。

一般質問

質問の内容は事前通告制です。制限時間60分の範囲内で一問一答で行われます。



岩永 政則 議員

Q 新・図書館は、長与農協の位置に

A 位置的には、ひとつの候補地として

議員 新町長は、新図書館を建設する考えがあるのか。

町長 図書館は町民にとって知的情報収集の場であり、コミュニティの場でもあり、町づくりにとって、きわめて重要な施設である。新図書館の必要性は十分に認識している。建設に向けて努力していきたい。

議員 建設位置については、幼児から高齢者までの幅広い利用者があるため『公共交通機関があり、平地で歩いて利用ができるような利便性のある位置』が望まれている。そこで提案であるが、現在の農協の位置を真剣に検討する考えはないか。これは相手がおられるので、方策は種々検討が必要である。

町長 提案の農協の位置については、一つの候補地として考えられるが、地権者の同意

が必要である。また買収あるいは賃借など財政負担が生じ十分検討を行う。

議員 教育委員会に任せるのではなく町長部局（企画部門）で一定の方向を出すべきである。新町長になられたのであり、新たな視点から、また新たな構想のもとに新図書館について取り組みをすべきであるかどうか。

町長 建設推進については、『住みたい、住み続けたい、住んでよかった』といわれる町づくりを進めるため、町長部局において『長与新マスタープラン推進会議』を設立することとしている。この会議の中で図書館の建設場所についても、大きな一つのテーマとして検討を進めていく。

Q 2子目の保育料の無料化を

A 保育料全体を見直し改正する

議員 本町では、32年度末人口を5万1千人と定めて町づくりが進められている。今後、人口問題を町政の最重要課題として位置づけた施策が必要である。そのための一つの施策として、単に児童福祉対策の視点のみならず、人口増加対策の面から、2子目の保育料（現在二分の一）を無料化することであるが、実行する考えはないか。

町長 少子高齢化の動きが加速するなか、定住人口の増加と出生率向上を図り、次代を担う子供達の育成のため、子育て支援の充実を目指すことは重要と考える。2子目を無料化することは一定の効果はあると考えるが、

保育料全体を見直し改正するほうが効果的と考えている。所得階層の細分化などを含め来年度改正に向けて研究を進めている。

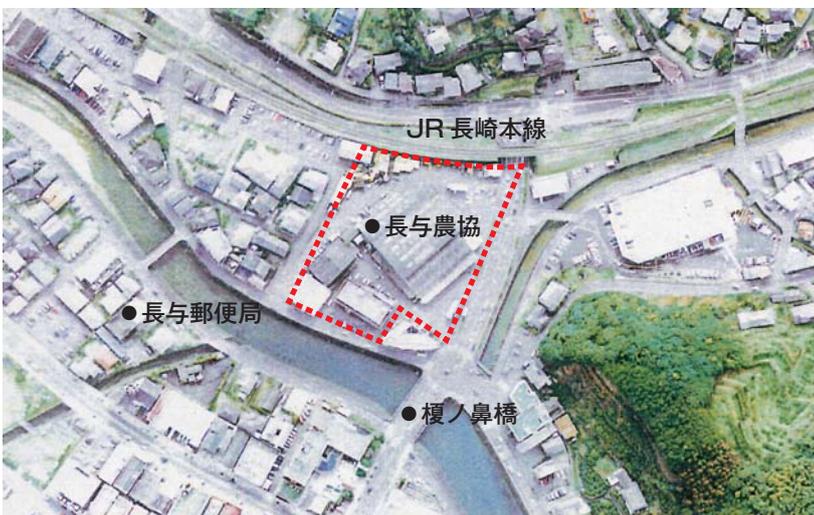
議員 介護老人福祉施設（ミニ特養）は誰がどこに新設するか。

町長 26年度まで公

募により整備することとしているので、誰がどこに新設するかは未定である。

議員 既に、特定の方々に決まっているのか、一般的なことを耳にするかどうか。

町長 一般公募によりガラス張りで行っていく。



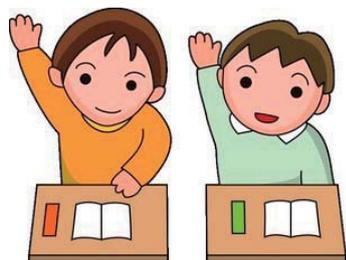
▲待たれる図書館…1つの候補地として（長与農協用地）

Q いじめ根絶に向けた体制を整えよ

A 連携を密に取り防止に努める

金子 かねこ

恵 めぐみ 議員



▲こどものSOS 見逃さないで!

議員 「現代のいじめ」は陰湿化・巧妙化・潜在化が進行している。それは「社会の病」が現象化されたものだとと言える。そして、いじめは感じ方に差があるため明確な判断が難しいのが事実である。本町では、実際にいじめがあるのか現状を伺う。

教育長 深刻とまでは言えないが、年間2〜3件程度だったものが、最近では小学校38件、中学校9件起っている。18年に「いじめの定義」が変わったことが理由だと考える。

議員 実態把握はどのような方法で行われているのか。

教育長 学期ごとのアンケート・担任による定期的な教育相談や個人面談、「こころの相談員」を町費で配置、さらに、校長・教頭などによる意図的、計画的な校内巡視を行っている。

議員 長崎県の取組にスクールカウンセラーの配置があるが、本町では考えているか。

教育次長 中学校2校、小学校1校に派遣してもらっている。全校に配置したいが財政面などの問題がある。その他、こころの相談員で対応している。

議員 本町独自の取組はあるか。

教育長 独自のものはないが、感動を体験させることが「いじめ」の防止にもなるのではと考える。

カウンセラー配置

議員 町長のマニフェストに「まちぐるみで子供を育てる環境づくり」とあるが、町全体の取組として「いじめ根絶」を考えるべきと思うが町長の見解を伺う。

町長 学校・家庭・地域が一体となって取り組むべきである。また、コミュニティが行っている登下校の見守り・感動体験などがいじめから守ってくれるとも思っている。

第3者委員会設置

議員 佐賀県嬉野市・多久市で「第3者委員会」の設置が9月議会に提案されている。他自治体の取組も参考になるのではないか。

町長 教育委員会と一緒に、参考にしながら

ら研究・検討していきたい。

Q エコバックで地球温暖化防止を
A キャンペーンを継続していく

議員 本町におけるレジ袋削減、エコバック推進についての考え方・取組について伺う。

福祉部長 13年度から他町に先駆けてキャンペーンを展開しレジ袋削減に向け啓発を行ってきた。PRグッズとしてミックンファミリーを活用したマイバックを販売している。地球温暖化対策を個人のレベルで推進するためキャンペーンを継続する。



◀ミックンのマイバックでエコ推進

Q 分かりやすい情報提供を
A 適切な対応を心掛ける

議員 行政資料などは分かりにくいものが多いと感じる。ホームページも町民の立場に立った作り方になっているのか疑問である。基準を明確化したマニュアルなどはないのか。

町長 町独自の基準はないが、案件ごとに適切な対応を心掛ける。

※いじめの定義
「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの」



佐藤 昌人 議員

Q 示せ情報インフラの整備

A 検討委員会で検討中

議員 政策を実行していくための具体策を示せ。

町長 若い人にとって魅力ある町、若い世代を町内に引き込み、町民を増やす取り組み、高齢者向けの健康増進事業や文化活動、体育行政の充実を図っていく。その他の事業も総合計画を基準として、財政状況を踏まえ、優先順位を定めながら取り組んでいく。

議員 情報インフラの整備を政策の重点項目に挙げているが、現状はどうなっているのか。

町長 私を含め全部課長を委員とした「長与町情報インフラ検討委員会」を発足させ、検討している。防災情報を含む行政情報の適切な発信が重要である。

まずデジタル化を行う。屋内外で通信可能な防災システムを構築

し、高齢者の安否確認や見守り、コミュニティの強化、住民参加の促進としての活用を考えている。

議員 情報インフラについて、最終的な制度設計はできているのか。

町長 大まかな制度設計はできている。

議員 初期投資額と維持管理費を示せ。

企画振興部長 現段階では示せない。システムの内容次第で変わってくるが、少額で済むように工夫し、努力したい。

議員 副町長は条例で2名以内となっているが、あと1名選任することもできる。現副町長は前町長が選任した方で、いつまでもお願しているのは不自然である。どう考えているのか。

町長 来年3月まではやってみよう。長与町のために一番良いの

は何かという考えで判断している。

図書館の建設場所

議員 図書館の建設場所について、中尾城公園の一番下の右側部分が適地ではないかと考える。理由として、

町有地であり土地の取得費用がかからない。文化施設を併設することで相乗効果が期待できる。うまく設計すると、文化ホールへ徒歩で上る距離を軽減できる。駅から近い。駅前地区の活性化が期待できることなどが想定されるが、どう考えるか。

町長 大いに結構なことである。その他の候補地もあるので検討していきたい。

歩行者の安全は

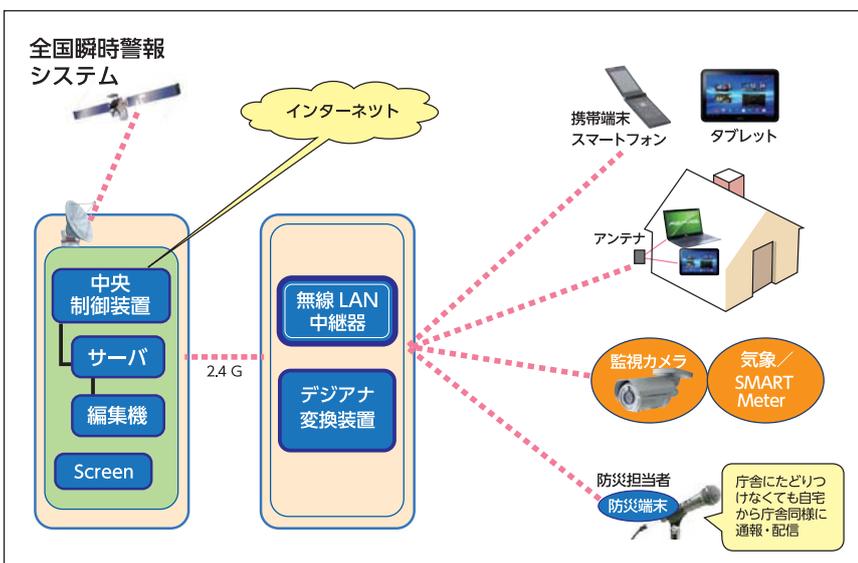
議員 建設中の道路が完成すると解消されるが、高田越トンネル

を抜けて高田中までの道路が狭く危険である。スピード落とせの横断看板や片側交互通行にするなどの対策が必要ではないのか。

議員 旧マップジモーターズ前の横断歩道の信号が短すぎて、高齢者などが渡りにくい。改善できないか。

都市整備課長 スピード落とせの路面標示で対応したい。

議員 長崎市であるので、公安委員会に相談したい。



▲新防災システムはこんな感じ？

Q マニフェストは守れるのか

A 精査して行っていく

竹中
たけなか

悟
さとる
議員



議員

拠点回収の弱者とは、高齢者以外にも仕事で出せない人、色々な環境の人々も含まれると思うがステーション回収に戻すべきではないのか。

町長

住民の、ある種がままではないか。

議員

その考え方は、少し傲慢である。納税してもらっている以上、住民サービスは当たり前ではないのか。

町長

その都度考え、検討していく。

情報インフラは

議員

マニフェストにある情報インフラに対する今までの説明は不十分である。それに、財源が伴わない事業はない。マニフェストに掲げた理想とする大枠の構想と費用に対し、どのように考えているか。

町長

防災等のためのエリア放送・電波の有無などの放送関係、無線LANシステムなどの通信のための費用、委託料などが掛かる予定である。

議員

危機管理は大切である。しかし、10億円ほど掛かると聞いている。全体像をどのように考えているのか。

町長

デジタルに移行しなくてはいけない。受像器を、各家庭に置くことを考えているが、安価なものを探している。しかし、それだけではなく高齢者の見守り、図書館情報など多目に使えることが情報インフラだと考えている。

議員

管理費なども掛かる。また、安くな



▲身近で弱者にやさしいゴミステーション

ることを想定して予算を組むことはできない。町民に十分説明し、納得してもらわなければならないがどうか。

町長

そう考えている。また、若い人と話し合いを持ちながら、その中で検討していきたい。

議員

コミュニティバスの運行は、弱者、買物難民、福祉救済策のためか、基本的な考え方はどうか。

町長

すべて含めて考えている。

議員

町全体、または一部と考えているのか。

町長

全体である。現在、町民アンケートを考えている。

議員

財政的に赤字になるのではないか。

町長

町民のためであれば、赤字でもやったほうがよい。

議員

厳しい中、財源を考えるべきである。マニフェストなど、

言葉で理想は言えるが、現実的にはどうか。

町長

できるもの、できないものを調査してやっていく。

議員

コンパクトシティ構想の中で、委員会・核となる場所などは考えているか。

企画振興部長

大きな単位で考えなくてはいけない。優先順位を考え、適切に対応していく。

商店街活性化は

議員

商店街活性化とあるが、どのようなまちづくりをするのか。

町長

長与町の顔である。図書館建設なども含め、活性化を考えていきたい。



山口憲一郎 議員

Q 農業政策の充実を

A 一層の充実を図っていく

議員 増加する遊休農地や耕作放棄地について、行政はどのような対応施策を行っているか。

町長 農道整備・農地の基盤整備や機械化を進めることにより、作業の省力化を図っている。さらに、国の補助事業である「中山間地域等直接支払交付金」や「農地・水保全管理支払交付金」の継続により、遊休農地や、耕作放棄地の発生防止に努めている。

議員 農家の高齢化が進むなかで、後継者不足も深刻な問題である。行政としてどのような支援を考えているのか。

町長 町の農業従事者の平均年齢は66歳と高齢化が進み、後継者不足と合わせて大きな課題と捉えている。町としては「農家の所得向上による魅力ある農業経営」が、新規

就農につながると考えている。そこで、様々な事業を展開するとともに、県および指導農業者、青年農業者やJAなどの関係機関と連携し、新規就農者をはじめ農業後継者、認定農業者への支援を継続して実施していく。

農産物生産拡大は

議員

柑橘類などの町の農産物の生産拡大に向けて、町はどのように取り組んでいるか。

町長 消費者の嗜好にあった高品質の柑橘類を安定して生産し、供給・販売ができるよう、優良品種更新事業やマルチ栽培による品質向上対策事業、ブランド商品対策事業などを行っている。

さらに、新選果場建設に伴う出荷者の負担軽減のための支援など

実施している。

また、地産地消による直売所向けの野菜・花の栽培やオリーブ、梨、ぶどう、ブルーベリーなどの導入により安定した農業経営ができるように推進していく。

高齢者の有効活用を

実情に見合う対応を行う

議員

高齢者の雇用機会の拡大と元気な高齢者の有効活用観点から、シルバー人材センターの充実・強化は行われているか。

町長 時津町との広域で事業を行っているが、長与町の会員は247名で年々増加傾向にある。町としては、引き続きセンター発注による公共事業の確保に努めるとともに、運営のための適切な財政支援を行っていく。

老人会活性化を

議員

高齢者のコミュニケーションの場として老人会は長寿社としての役割が大きいと思われるが、町の老人会の実態はどうなっているか。

町長 現在の老人クラブ数は32クラブで1715名の会員となっており、年々増加傾向にある。老人クラブを通じては、歯科衛生士や薬剤師などによる出前講座などを開催している。



▲どがんかせんば耕作放棄地

Q 本町のいじめ防止対策は

A いじめ事例集などを活用し実施中

内村 博法 議員



▲町内の中学生による、いじめ防止ポスターです

議員 本町の小中学校におけるいじめの実態はどうか。

教育長 今年度4月からはいじめ認知件数は小学校で38件、中学校で9件となっているが、指導の結果ほとんど解決している。

議員 本町の現在のいじめ防止対策はどうか。

教育長 いじめは典型的な人権侵害である。各学校では、いじめ事例集などを取り上げて人権教育に取り組

んでいる。また、日頃のあいさつ運動も大きな抑止力になると思い推進している。

議員 滋賀県大津市の事件を機に町としては今後どのように対応するのか。

教育長 継続的なアンケート調査や教育相談、個人面接の充実、教育相談員の活用、子どもホットラインの活用、スクールカウンセラーの活用など現有の組織を挙げていじめの早期発見、早期解消に努める。

んでいる。また、日頃のあいさつ運動も大きな抑止力になると思い推進している。

議員 財政健全化のための費用削減の方針はどうか。

議員 財政健全化のため、今後更なる費用削減に努める

町長 町税を始めと

議員 他自治体で行っている「いじめ防止条例」を制定する考えはな

教育長 いか。

小野市で兵庫県制定されているが、

学校だけでなく家庭、職場、地域社会などにおけるいじめ、虐待、暴力などに焦点を当てた市民運動の取り組みで、共感を得るものがたくさんある。今後検討してみたい。

した歳入の確保および歳出の費用削減に努めている。限られた財源の中でいかにして効果的・効果的な財政を行っていかかを念頭に、今後、財政の健全性を維持していく。

Q ごみ焼却施設の環境対策は万全か
A 環境法令の基準値以下で実施予定

議員 建設予定のごみ焼却施設におけるダイオキシンなど有害物質の流失防止体制は万全なのか。

町長 ダイオキシン類対策特別措置法などで定められている排出基準値以下の自主規制値を設定し、運転管理を実施する。

議員 本施設による温室効果ガスの年間発生量はどの程度予想されているのか。

町長 年間約7000トンが見込まれている。

議員 地域住民との説明会を実施されたと聞いているが、問題はなかったのか。

町長 説明会では、

大気汚染、水質汚染、臭気などの住環境悪化を懸念する意見が多く寄せられた。これらの意見に対して丁寧の説明し、先進地の焼却施設の見学会を開催するなど、安全性について理解していただいた。

議員 今回の入札公告では予定価格が事前に公表されているが、事前公表した理由は何

町長 環境施設組合

では、学識経験者などからなる事業者選定委員会を設置し、入札関係書類の審議を行うと共に先進地の事例などを参考に、予定価格の事前公表がなされている。



安部 都議員

Q 住民サービスの窓口業務の強化は

A 人員増員を図り体制を整備したい



▲電話交換室：1日に500件以上を取り次いでいます



▲総合窓口：さらに細やかな案内を

議員

役場職員の住民に対するサービスの意識向上のため、窓口業務を設け住民と対話できるガラス張りの町政を目指すところがあるが、具体的取り組みは何か。

町長

総合案内についての人員増員を図り、来客者への適切な担当課・担当窓口へ案内する体制を整備したい。補正予算で、業務内容の変更に伴う委託経費の増額も計上している。

議員

長崎市が導入している「あじさいコールセンター」などの導入

町長

入の考えはないのか。趣旨に対しては賛同している。市内も見えてきたが、対応が良い。内容が大きな問題なので検討し良い事例を考えていく。

住民との懇談会は

議員

どのような形で住民との懇談会を開催し、情報を共有して民意を反映しようとするのか見解を聞きたい。

町長

先般、各自治会長さんを通して、アンケートを取らせてもらった。自治会単位な

議員

ど、できる限り希望される範囲で実施していきたいと考える。やはり、最善の方法で実施できるように現在検討している。

議員

アンケートはどういったものか。規模で、開催時期はいつがいいか、住民の意見・希望はあるのかなどの内容であった。

町長

どのくらいの規模で、開催時期はいつがいいか、住民の意見・希望はあるのかなどの内容であった。

議員

各課からの職

議員

適切な組織機構や人員配置を判断

員増員希望などの要請があったりしないのか。

町長

足りないからどうかしてほしいとの報告もある。それについては、十分に論議をして、しかるべき対応をしていかなければと思う。

議員

少子高齢化や住民のニーズの多様化や日々変わる国政の制度変化に並び、行政の対応も必須とされる。職員の能力向上をどのように推進しているのか。

総務課長

人材育成という観点だと思いが、人材基本計画というメニューで研修会に一年間にわたって参加させている。全国的に県・町村会レベル・長与町内の研修を実施し、責任に応じた研修を行なっているのので有効に活用したい。

議員

全職員が各課の必要に応じて研修を

受けられるように配慮をされているのか。忙しい部署など受けられない現状があるのではないか。

総務課長

職員数が少ないのも確かにある。公平な立場で年齢とか経験とかあるが、リストアップして研修には、参加していくことを各課で協議をしている。

議員

人事評価制度はどういう内容か。

総務課長

本年度より本格化され、人事評価制度を用いているが、コミュニケーションを図りながら判断している。

議員

代休や有給は、適正に職員は取れているのか。

総務課長

20日間を前提すると10日も取れていない。



川井 哲雄 議員

Q どうする子育て支援策

A 保育料を改正する

議員 保育料を第2子から無料化する方向で前町長は検討されていたが、新町長は子育て支援策についてどのように考えているのか。

町長 保育料を全体的に見直し、改正することが子育て支援の充実につながると考え、来年度からの改正に向けて研究している。また、幼稚園の預かり保育料についても合わせて検討している。

議員 無料化ではなく保育料を下げるとの認識で良いのか。

町長 その方向である。

議員 高田保育所の建て替え工事の進捗状況はどうなっているのか。

町長 7月27日に実施設計が完了し、8月24日に請負工事の入札を実施したが不調に終わった。

議員 来年度の開園

時期はどうなるのか。

町長 本年度末竣工、25年度新園舎での開園という事業計画を引き続き進めていく。

議員 高田保育所に導入予定の延長保育問題は怎么样了のか。

町長 25年度当初から実施に向けて検討している。開園後、体制が整い次第早めの実施する。

Q 消費税の表記を統一せよ A 条例改正議案を提出する

議員 公共施設使用料の消費税額表記や徴収について、今後どのように考えているのか。

総務部長 内税方式への関係議案を、次の議会に上程する。

議員 内税とするなら、使用料は現在徴収している消費税額を引いた金額になるのか。

町長 エアコンなどの使用料の消費税額は切り捨てて、使用料の中に入れるなど、十分協議して次の議会に上程する。

議員 公共施設利用に対しての受益者負担が、現状では不公平差を生じているが、どのように指導していくのか。

町長 今後とも施設を利用する方とされない方との負担の公平さを図るため、受益者負担の原則と住民サービスの両面から対応する。

Q 天満宮グラウンドの整備を A 改善策を検討する

議員 天満宮グラウンドは老朽施設のため、駐車場の問題が発生しているが、整備の見直しを検討する考えはないか。

教育長 開設から40



▲もうすぐ建つよ
(高田保育所建設予定地)



▲天満宮グラウンドまで遠いな～

年ほどが経過しており不便な面もあるが、新たに専用の駐車場を整備するにはスペース的にも難しいと考える。

議員 高齢者の方々の乗り降りや、競技用の用具の積み下し程度の駐車場を検討できないか。

た安心、安全であるかなど早急に調査、研究を検討すべきではないか。

町長 計画的に研究し変えていく。

議員 施設利用の所管を一本化できないか。

副町長 管理の面では無理だが、貸出し手続きの窓口の一つにできないか検討する。



西岡 克之 議員

Q 全国学力テストの結果を示せ

A 全国で小学校は6番目

議員 本年4月に実施された全国統一学力テストについて、結果を示せ。

教育長 抽出校は、北小、南小、長与中と第二中だったが、本町は他の小中学校全部が参加した。長崎県は結果が前回より芳しくなかったが、本町の子供たちは小学校で比較すると、全国で6番目、中学校では全国トップの福井県の成績より良かった。

議員 これからの指導の方向性はどのようなのか。

教育長 これに一喜一憂することなく、さらなる成績、人格の向上をめざす。

Q 高齢者の肺炎球菌予防助成を

A 予防接種法改正を視野に入れ検討

議員 予防ワクチンの助成について尋ねるが、高齢者の肺炎球菌

予防について助成がでないかたずねる。

町長 現在、厚労省で予防接種法の新たな対象ワクチンの中に、成人用肺炎球菌が含まれているので、町としても事態を見ながら今後検討したい。

ピロリ菌除菌を

議員 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃がんの主な原因の一つにヘリコバクターピロリ菌の存在が確認されている。厚労省も認めているが

現在、除菌の補助制度がない。本町で先駆けて実施してはどうか。

町長 ピロリ菌は胃に住み着く細菌で40歳以上の日本人の70%が感染していると言われるが、現在のところピロリ菌の除菌助成は考えていない。本町では40歳以上対象の胃がん健診を実施している。受診率向上で早期

発見、早期治療を進めたい。

議員 福岡県添田町では胃がん健診時、オプシオン検査（2000円）を実施している。本町も健康診査のお知らせのプリント中で検査を明記してはどうか。

生活福祉部長 今後前向きに検討する。

Q 障害者施策を厚く

A 事例により改善を図る

議員 本町の視覚障害者の方々に病院などの通院時に使用している、福祉タクシー券は近隣自治体と比較すると少額だ。改善できないか。

生活福祉部長 前向きに検討する。

議員 パソコンの音声変換ソフトも本町は1回きりの助成となっている。長崎市は5年に1度買い替え時に補

助がある。例えば、ソフトのバージョンアップ時に買い替えの補助ができないか。

部長 これについても、前向きに改善していく。

議員 歩道の改修時に点字ブロックが除去されたままになっていく所がある。交差点などでは非常に危険だ。全町の点検の必要があると思うがどうか。

建設部長 指摘の箇所も含めて調査点検したい。

議員 役場受付の総合案内カウンター仕切りも外した方が、身体の不自由な方々が来庁時に、即対応できると考えるがどうか。

町長 前向きに考える。



▲点字ブロックは、きちんと整備を

Q 学校のメンタルヘルス取り組みは

A 今後も積極的に取り組んでいく



響庭 敦子
あいば
あつこ
敦子 議員

議員 今、教職員の健康問題が深刻になっており、教職員が生きておられ、働きづらい実態がある。町の学校におけるメンタルヘルス取り組み状況はどうか。

教育次長 悩みを抱えている人はいないかなど、心身の健康状態を確認している。また時間外勤務が月100時間を超える先生方は産業医との面接を行う。

議員 教職員の休職状況はどうか。

教育長 現在休職者はいないが休暇中の人はいる。

議員 メンタル不調者を一人でも出さないようにしていくことが大切である。不調になった場合の子供への影響、また保護者の対応をどうしているのか。

教育次長 組織を上げて取り組む。養護教員が先生方への声かけを行う保護者から不満

がないような対応を行う。

議員 勤務時間が45時間を超えると健康へのリスクが高いが勤務管理をどうしているか。

教育次長 パソコン管理している。ノー残業デーを行っている。

議員 昼休みの確保ができているのか。

教育次長 子供が相手なので職業柄難しい。

議員 心の健康の面で研修、情報提供を行っているのか。またメンタルヘルスカウンセラーの設置を考えているのか。

教育次長 スクールカウンセラー、心の相談員、産業医で対応している。高田小学校で「職場のメンタルヘルスについて」の研修を行う。

議員 各学校にカウンセラー設置が必要と思うがどうか。

町長 今の体制を崩さないようにして各学校へは配置していきたい。

いじめの対策は

議員 子供のSOSを見逃さないために、どのような指導をしているか。

教育長 「1つの大事故の陰には20の事故と300の異常がある」異常さに気づく感性を高めるようにしている。

議員 「無理して学校に行かなくてもいい」と言える環境が必要と思うがどうか。

教育長 現在もやっているのだから続いている。

議員 ホームページの進捗状況はどうか。

Q 進んだか町の情報インフラ

A 方向性の確立が必要で、これから

町長 現状において、わかりやすい情報発信を行う。

議員 タイムリーな情報発信、リニューアルも含めて考えてはどうか。

政策推進課長 リニューアルの必要性を考えて検討する。

議員 フェイスブック活用の進捗状況はどうか。

町長 管理運営する上で課題がある。

議員 管理運営の課題は何か。



▲至急望まれるリニューアル！

町長 勉強しないと危険が伴う。

議員 各家庭へのタブレット配布の現時点での費用対効果はどうか。

町長 タブレットを使うのはまだ実験段階であり、今すぐではない。

議員 町民が望んでいるのか、ニーズ調査は行ったか。

町長 今から調べる所であり、今後、調査しながら進めていく。



堤 つつみ
理志 議員

Q 風化させるな、平和の尊さ

A 平和事業・教育は今後も継続

議員 本町は、長崎原爆の被爆地であり、被爆者は、今なお放射線の影響による不安が消えない。こうしたことから町は「平和で安全な町宣言」を行ない「平和で安全な郷土を築き、子孫に引き継ぐことが：私たちに課せられた最大の責務である」と謳っている。平和事業を充実することが、平和に対する意識の希薄化を防止し、平和を伝承することにつながる。今後の平和事業に対する考え方を伺いたい。

町長 戦争を知らない世代が大半となり、平和に対する意識を高め伝承していくためには地道な取り組みが必要。来年度以降も平和事業を継続していく。

議員 学校での平和教育はどうか。

教育長 小学校では被爆体験の講話、原爆資料館見学と平和集



▲長与町被爆体験談集 DVD の一場面（被爆当時を語る西村勇氏）

会。作文と平和学習の発表。中学校の平和集会では、平和宣言、被爆者による講演、合唱、朗読など実施している。これらを着実に実施していく。

議員 外国で核実験、臨界前核実験が行われた際、抗議してきただが、新町長も抗議する考えはあるか。

町長 抗議をしている。

議員 町の平和宣言は平和事業の柱であるにも関わらず、ホームページに掲載していない。町内外にアピールする意味でも、掲載すべきではないか。

町長 検討したい。

議員 被爆体験の証言映像DVDが有効に

議員 町の公共施設の耐震診断・補強は、子どもたちの学校を最優先する必要がある。他の施設は今後の課題である。学校の耐震化の目処がいつだが、他の公共施設の耐震診断とその後計画はどうするのか。

町長 公共施設は、いまだ手つかずのものがある。早急に診断していきたい。町の振興計画にのせながら計画的に対応する。

議員 マスコミ報道によると学校の照明、

活用されていない。ユーチューブなど、動画共有配信サイトを利用して、多くの方に見てもらおうよう提案するが、町長の考えはどうか。

町長 検討したい。

Q 忘れていないか
施設の老朽対策

A 急いで診断する

天井など「非構造部材」の対策を終えているのは、全国で3割にとどまっているとの事だが、本町はどうか。

教育委員会総務課長 「非構造部材」は、今後予算化し対応したい。

議員 全体的な老朽対策は具体的にどうすすめていくのか。

副町長 古いものから診断し、急ぐものから計画的に実施していきたい。

議員 計画がまとまった時点で、議会に報告する考えはあるか。

町長 報告したい。

わげく
和弘
かずひろ
議員



Q 熱中症の対策状況は

A 水分・塩分の補給の呼びかけ

議員 スポーツ中の熱中症患者が多発傾向にある。熱中症に対する予防と対策状況はどうか。

教育長 本町では、幸いにもスポーツ中に熱中症になったとの連絡は受けていない。各大会においては、選手、指導者に対して定期的に水分・塩分の補給の呼びかけを行っている。

議員 各指導者への心肺蘇生法の推進状況はどうか。

教育長 AEDは現在、町民体育館、テニスコート、各小中学校、公民館などに配置している。過去には健康センターにおいて、施設の従業員と役場職員を対象にAEDの講習会を行ったことがある。指導者に対しては町では行っていない。

議員 各指導者の指導育成についての講習会、勉強会などの参加



▲炎天下水分補給はこまめに

状況および取り組みについてはどうか。

教育長 体育協会と共催で、指導者・町民を対象にスポーツ講演会を年1回行っている。21年度は「コンビネーショントレーニング」、22年度は「スポーツトレーニングとリハビリテーション」、昨年度は「いきいき

ウォーキングのすすめ」を行った。また、

長崎国体を視野に入れ、ソフトボール競技、長崎県チームを招き、少年ソフトボール教室を指導者や子供たちに対して、21年度に開催した。今後も町民が参加できるように健康を目的にしたものを開催したい。

議員 運動公園広場および多目芝生広場の整備・使用状況はどうか。

教育長 運動公園広場は、8月に多目的トイレが完成し、10月には表層土の入れ替えを行い、来年度のリハサル大会および国体に向け整備を行っていく。利用状況は、年間3万人以上である。多目芝生広場は、ベンチ10基を設置し、今後手洗い場を作る計画をしている。利用状況は、年間1250人が利用している。

Q コンパクトシティ形成に向けて

A 交通体系の整備を図る

議員 「コンパクトシティ」について、今後の形成に向けた構想および具体的計画状況はどうか。

町長 情報インフラを整え交通体系の整備

を図り、商業を活性化し中心市街地の高機能化を進めることで、自然環境と調和し、機能性・快適性・利便性が備わった長与町としての「コンパクトシティ」の実現を図っていきたいと考える。また、コミュニティバスも含めた公共交通体系についても、今年度中に今後の高齢化社会に対応できるような基本的方向性を策定するため、コンサルタントとの契約を行う。現在、既存の交通体系の分析、人口動態などの基礎調査を進めている。



安藤 克彦 議員

Q 長与町暴力団排除条例の制定を

A 制定に向けて準備を進める

議員 町で起こった暴力団が関係する事件・トラブルを把握しているのか。

町長 警察から情報提供を受けている。本年は1件、実際トラブルがあった。

議員 「町暴力団排除条例」の制定に向けて取り組む考えはないか。

町長 町民の安全で平穏な生活の確保や、地域経済の健全な発展に寄与する目的から必要と考えており、制定に向けて準備を進める。

Q 長与町駐車場の運営見直しを

A 当分は現状のまま

議員 長与（嬉里）駐車場は565万円の収入に対し、管理委託料が497万円支出され、収入の大部分を費やしている。また、月極駐車があるにも関わらず、営業時間が限定

され利用者の利便性の障害となっており、運営自体を見直すべきでないか。

町長 できるだけ経費の削減に努め、当分の間は現状の管理運営で行いたい。

議員 駐車場の無人化・料金精算機導入の考えはないか。

町長 現状では難しい。

議員 会計を詳しくみると、長与駐車場の収入565万円は、定期駐車車の328万円と時間駐車車の237万円に分けられ、237万円を得るために497万円が支出されている。このことをどう考えるか。

町長 シルバー人材センターに委託しており雇用にもつながっている。また、地下であり狭いので防犯の面から人も置いておきたい。
議員 有人によりかかる経費は他にも、レ

ジ保守代、エアコンの電気代、NHKの放送受信料などが発生している。委託内容に対する単価（1時間946円）の根拠は何か。

管財課長 町とシルバー人材センターとの協議で決めている。

議員 協議というより言い値ではないのか。役場で働いている方のパート賃金と比べても相当高いと感じる。この単価は見直せないのか。

課長 シルバー人材

センターと協議をする。
議員 協議をするというのはどういうことか。単価は変えられるのか、変えられないのか。

課長 シルバー人材センター内部のこともあるので協議をさせてもらいたい。

議員 LED電球な

Q 太陽光発電設置に対する補助は
A 視点を換えLED補助をする

ど購入に対する補助は私も賛成する。しかし、CO²削減の面からも家庭への太陽光発電設置に補助を出し、設置を検討している方の後押しをすべきではないか。
町長 エネルギー政策は、重要なものと考えて真正面から取り組んでいかなければならない。じっくり検討していきたい。



▲駐車料収入も町民の大切なお金です



▲多くの屋根に太陽光発電を！



河野 龍一 議員

Q 本明川ダムは必要か

A 2市2町での協議必要

議員 長与町は、加盟している長崎南部広域水道事業団からの受水を計画している。

しかしダムの建設は進んでいない。本明川ダムからの受水は必要なのか。

町長 ダムの建設は一時休止状態だが、本町は、19年に不安定水源の地下水から、広域水道事業団の受水に変更した。ダムからの取水は必要と考える。

議員 本町の水道用水確保の計画はどうなっているのか。

水道局長 長与川からの取水が6600トン・地下水が4091トン・広域水道事業団から2300トンで合計1万2991トンである。

議員 現状の地下水の保有水量はいくらか。

局長 水質の問題もあるが、24カ所からの取水は9588トンある。



▲命の泉 長与川



▲にぎわう 敬老会

る。

議員 長与川の水を合計すると、計画水量よりも十分な水量がある。広域水道からの受水が必要か。

局長 震災後、水道水確保のリスクを分散するため、安定した水確保が必要と考える。

議員 広域水道事業団の覚え書きでは、水の供給料金は今後協議すること、事業団の水は計画通り必ず受水することが決められている。

今後の負担や、水の確保を考えると事業団の受水は必要か。

町長 地下水は不安定なため、事業団の受水は必要と思う。

議員 長与川の水利権はいつ決まったのか。

局長 第1浄水場の権利は昭和40年頃だと思う。

議員 当時と環境が変わっている。水利権の協議ができないのか。

町長 できるのかどうか協議したい。

議員 水利権の協議などの努力で、本明川ダムの建設が不必要とならないか。

町長 2市2町で進

めている事業なので、2市2町での協議が必要だと思う。

Q 敬老祝い金の支給を見直せ

A 当面は現状でいい

議員 敬老祝い金の支給は、9月1日を基準日にしている。誕生日に変更できないか。

町長 民政委員を通じて確認作業をしているので、現状のままでもいい。

議員 住民からも不満の声がある。民生委員の対応の問題なら変更が可能と考えるがどうか。

町長 民生委員が誠意を持って行っているので現状でいい。

Q 発達障害の早期発見を

A 5歳児検診を取り組みたい

議員 発達障害への取り組み強化が必要と

考えるかどうか。

町長 対象児・相談者が増えているので、療育指導者の確保などを考えていきたい。

議員 早期発見が必要とされている5歳児検診の考えはないか。

健康保険課長 県からも要請があつているので、早急に実施していくよう協議している。

※長崎南部広域水道事業団

長崎市・諫早市・時津町・長与町で構成

し、安定的な水資源を確保するため本明川にダムの建設などの事業を進める団体。各自治体がダムより受水する計画。



吉岡 清彦 議員

Q 農道百合野線の延長を図れ

A のり面工事に多額の費用が必要



▲農道百合野線の延長を期待する

和楽団地ま
で延長するこ
とによって、
県道33号線や
町道吉田川内
線の渋滞緩和
や利便性が図
られると思う
が、計画はど
うか。
(口) 打坂―百
合野間の道路

町長 百合野農道に

の拡張計画はあるのか。
町道吉田川内線は、狭
隘のうえに車輛の通行
が多い。よって、この線
の拡張計画はあるのか。

和楽団地線の拡張

議員 和楽団地内の

稼働する予定の27年4
月までに完成予定。

町長 ごみ焼却場が

池堂―西時津
線の完成によって、国
道207号線のバイパ
ス的な役割を成すもの
と期待するが、時津町
側に住宅密集地があ
る。完成はいつか。

(イ) 農道百合野線を(仮)

繋がつており、交通量
が増大しているので、
部分拡幅をしてきた。
全面拡幅は困難であ
る。今後も、可能な場
所があれば、実施して
いく。

議員 幹線として

の、農道百合野線の延
長および打坂線の拡幅
によって1本線とな
り、町内の幹線が県道
33号線、県道長与大橋
町線の3本となり、緊
急・救急性の解決、利
便性あるいは産業の発
展に寄与すると思う。
よって、

議員 幹線として

で、長崎側が狭隘であ
る。また通行量も多い。
緊急・救急性や住民の
利便性からも早期な解
決が必要と思うが、そ
の対策はどのようなに
なっているか。

町長 (イ) 農道百合野

線(仮)榎の鼻団地まで
延長する計画について
は、高低差の関係から
厳しく、地形上の視点
からのり面工事に多額
の費用がかかり難しい。
(ロ) 打坂の道路におい
ては、長崎市が単独事
業として実施中である
が、用地買収が一部の
区間で地権者と合意に
達しておらず、引き続
き努力することのこ
とがある。また、長与町
としても努力していく。

Q 公共事業の優先
順位は何か

A 情報インフラの整
備を優先とする

議員 これからの公
共事業の優先順位は、
如何なるものをどのよ

町長 これからの公

うな観点から位置づけ
ていくのか。
共事業については、昨
今の厳しい財政状況の
中でいかに効率よく、
かつ費用対効果を考慮
していくことが問われ
ている。福祉部門や建
設部門など様々な分野
がある中で、町民が日
常生活を営む上で、社
会基盤としてのハード
面とソフト面の両面か
ら見た安全、安心を第
一に優先していく必要が
ある。そのような中で、
老朽化している施設な
どがあるが、計画的に

議員 快適な住宅環

境づくりや、歩行者や
車輛の安全面からも、
(仮)生垣条例などを制定
する必要があると思う
が、どう考えるか。
町長 地域住民が快
適で安全、安心のため
に現行の法律などを基
に指導を行っていく。

A 現行の法律など
で指導を行う

Q (仮)生垣条例を設
定せよ



▲整然として気持ちの良い生垣

Q 歩きやすくきれいな歩道を

A 予算を含め検討

西田
敏議員



Q タイル張り歩道のメンテナンスは

A 逐次補修している

議員 長与役場前を

中心に歩道はタイル張りで歩きやすく景観も良いが、コンビニなど大型車両が入るところではタイルの割れが多く見られる。町の補修規定はどうなっているか。

町長 町の景観および環境などが叫ばれた時期に、町のイメージアップを図るために歩道のタイル化を実施した。

十数年を経過しており、経年劣化とともに店舗などの出入り口を中心に破損などがおきている。安全・安心な道路利用のために補修をしているが、同じ製品が無いと経済性や耐久性を考慮した施工方法で実施している。

議員 その場しのぎ

の継ぎはぎ補修では、かえって景観を悪くする。カビやコケの付着で汚くもなってきたし

国体も近づいてきた。町のメインストリート

であるので、一定の時期に洗浄と重量対策を施した歩道にすべきと思うがどうか。

管理課長 予算を含めて検討する。

Q 桜通りに灯りを

A 防犯灯の設置を検討

議員 高田川沿いの桜通りは桜が見事に成長し町民の憩いの場となったが、夜は既存の街灯だけでは暗く防犯上不安を訴える町民もいるがどうか。

管理課長 防犯灯の設置を検討する。

議員 中尾城公園内の木製階段の腐食・劣化が進んできたようだ。修理で対応しているのか。

町長 木製階段「花のデッキ」は4年度に

架設しており開園以来、手摺・階段踊り場の点検は公園管理人が毎日行い、補修を要する箇所は、公園作業員において随時補修を行っている。

議員 20年を経過したのであれば早晩全体

取り替えの時期を迎える。中尾城公園は多くの樹木と花々に訪れる人も多くなり町のシンボルでもある。計画的な予算化が必要とおも

うがどうか。

都市整備課長 検討していく。

親水公園整備を

議員 長与駅前の親水公園は、大雨のため

砂利や石が小川に詰まったり、歩道や置石の下の土がえぐられたりで、本来の目的からかけ離れたものとなっている。県の管理と思

うがどう対処していくのか伺いたい。

町長 親水公園は水

と関わり合える水辺空間の形成や、水と植生の景観の創出および生態系を守るための環境に配慮した親水公園として、町および地元自治会などの要望により19年から21年度に県施工で実施した。ご指摘

の小川については、上流のファブリダムが大雨時に落ちた時に、土砂などが流れ出し小川に堆積している状況である。土砂などの撤去については以前から状況に応じて実施してきた。今後についても、小川としての機能を發揮できるよう対応するとの確認をしている。



▲大雨で寸断された遊歩道（親水公園）

教育委員に
「黒田義和氏」任命に同意

去る9月24日の最終本会議において、教育委員1人の任期満了に伴い、「教育委員の任命の同意を求める」議案が提示され、同氏の委員任命に同意しました。

同氏は20年10月より長与町の教育長として、長与町の教育振興にご尽力され、この間の業績が評価され再度の委員任命となりました。

また10月1日に開かれた教育委員会において教育長へ再任されました。さらなるご活躍を期待いたします。



黒田義和氏（61歳）
南陽台団地在住



24年9月議会の議案内容および賛否

議案	審議結果	饗庭敦子	安部都	内村博法	分部和弘	安藤克彦	金子恵	川井哲雄	森謙二	西岡克之	岩永政則	喜々津英世	佐藤昇	山口憲一郎	堤理志	西田敏	河野龍二	吉岡清彦	竹中悟
長与町防災会議条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長与町災害対策本部条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24年度一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24年度駐車場特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23年度一般会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	▼	○	○
23年度駐車場特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	▼	○
23年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24年度下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23年度土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	▼	○
23年度下水道事業剰余金の処分及び決算認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23年度水道事業剰余金の処分及び決算認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高田保育所園舎建設工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会委員の任命の同意	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

〔○賛成 ▼反対 -欠席〕

来てみんな

町政の現在かかえる問題が多岐にわたっていることがよく分かりました。各々の議員さんの要望は最もなものと思われませんが、実現に向けて行政側が努力されていることも分かりました。

今、長与町がかかえている問題は、総合的な町づくり構想のもと、優先順を明確にすることが大切であると思われました。町長が今回提起されているコンパクトシティ構想は、そのひとつとして期待されます。時代の流れ、要請、町民の願いを長期的に展望して推進してほしいと思います。

60代 男性



あまりにも傍聴者が少なすぎます。自治会、老人会、学校などへ積極的に広報してはいかげでしょうか。
町側の説明の時間が長すぎ、議員の質問が少なく、突っ込み不足を感じました。

60代 男性

傍聴席から

皆様の感想は、抜粋、要約させていただきます。
たくさんのご意見ありがとうございました。

生きた話のやりとり、長与の現状などためになります。長与にはCATVがあるので庁内だけでなく町民にも広げて欲しい。

60代 男性

議長交際費 平成24年6月26日から9月25日までの総額と件数

寸志・慶祝など (各種団体総会・大会イベントなど)	34,780円(6件)
弔慰など (生花スタンド・香典など)	14,175円(1件)
激励カンパ	0円(0件)
視察研修自治体への謝礼	12,470円(2件)
その他 (見舞金・負担金など)	10,000円(1件)

支出合計 71,425円(10件)

次の定例会は 12月の予定です

傍聴をお待ちしています。

9月議会の傍聴者は
延べ **79人** でした

編集後記

今夏、感動の1ページといったらまだ皆さまの記憶に新しいロンドンオリンピックでありました。金、銀、銅合計38個という歴史的記録を刻みました。

感動が冷めやらぬ3週間後、8月29日～9月9日までの12日間、パリオリンピックが開催されました。

164の国と地域から選手が一同に参加し、日本人選手134人も17競技に熱戦を繰り広げました。結果は、合計16個のメダル獲得となり、障害があってもハンデイを感じさせない素晴らしい健闘ぶりでした。

また、ロンドンパラリンピックが思わぬ経済効果をもたらしました。ロンドン駅の66カ所でもバリアフリー化を実現。また、障がい者向けの新観光サービスが新たに誕生し、ビジネスチャンスに一役買ったのです。オリンピック関係者は「社会全体を変える良いチャンスだ」とも発言されていました。

近い将来、日本でもパラリンピックが開催され「社会全体を変える」良いチャンスになればと希求します。私たち広報委員も、新たな記憶に残る感動の1ページを、皆さまの心に残せるよう精進していきます。

(安部 都)